

6. 情報提供・出版・市民シンクタンク事業

— ウォロ、創刊 51 周年。新刊 1 点、改訂 1 点、増刷 1 点を発刊。書籍の利用総数は 3,890 冊。

2017 年 7・8 月号で創刊 51 周年を迎えた市民活動総合情報誌『ウォロ』は、中間支援組織が発行するオピニオン誌として社会課題の発信や提言に努めた。特集では、事例の紹介と分析を通じて、課題解決のためのヒントを読者に届けた。また、ウォロ自身が市民参加の場となるよう、20 人以上の編集委員とともに編集・発行を進めた。出版部門は『テキスト市民活動論』を改訂。2017 年度は約 425 万円の売り上げと 50 万円の印税収入があり、総額 475 万円の売り上げとなった。

1. 市民活動総合情報誌『ウォロ』の発行〔NHK歳末たすけあい募金助成事業を一部活用〕

(1) 発行部数【毎月 2,300 部】

市民活動関係者や社会福祉協議会、自治体、ボランティアセンター、NPO、研究者、企業の社会貢献部、大学等の研究機関などを中心に全国の読者に発信した。なお、発行費用の一部に大阪府共同募金会の助成金を活用している。年間購読料 3,000 円（送料込）。



(2) 内 容

<特集>

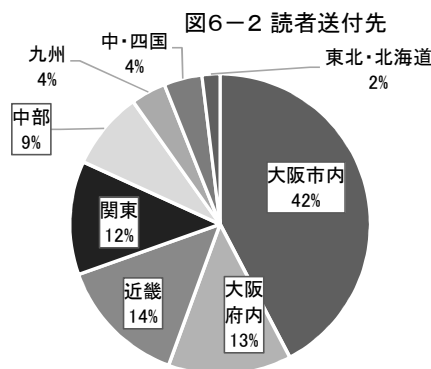
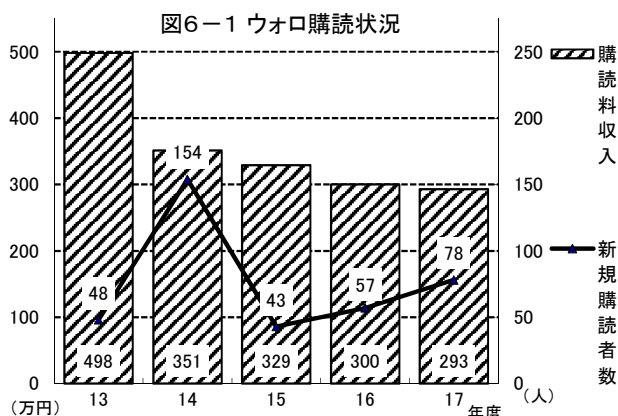
4・5月号	就職先はNPO—働く現場の「今」
6・7月号	世界と目指そうSDG s
8・9月号	民生委員の持続可能性 100周年の次へ
10・11月号	企業の社会貢献、その新潮流—広がる地域・市民協働
12・1月号	市民団体の世代交代 それぞれの選択と決断
2・3月号	空き家の市民的活用 文化を守り福祉に生かす

<V時評(論説欄)>

4・5月号	1. 誰と「ともに生きる」のか？ 2. 問われる一人ひとりの主体性 「SDG s / 持続可能な開発目標」
6・7月号	1. 生活支援サービスの意味するもの 2. 共謀罪の本質は「監視」への欲求
8・9月号	1. ボランティア活動と賃労働を分かちもの ～労基署によるNPOへの警告から考える～ 2. NPO法人が減少？ 大切な参加の機会づくり
10・11月号	1. 「きれいな記録」を残せば良いのか？ 議事録に無ければ「無かったこと」になる政治 2. テコ役となって社会を変える～市民社会創造ファンドが示す専門性の力
12・1月号	1. “大人”はどう応える？ 総選挙で見た若者の意識 2. 障害者とボランティア・地域住民との接点を見直す～大規模災害時を視野に入れて
2・3月号	1. 外国人と共に暮らすということ

(3) 購読者数

2017 年度末の有料購読部数は 1,537 件（前年度比 128 件減）であった。内訳は会員 956 件（同 113 件減 ※ パートナー登録団体（133 団体）を含む）、非会員 581 件（同 13 件減）。17 年度の新規購読部数は 78 件（同 21 件増）。内訳は会員 25 件（同 3 件減）、非会員 53 件（同 24 件増）。購読者は、図 6-2 のように全国に広がっている。購読料収入は 293 万円である（同 7 万円減）。なお、請求時期が例年より遅れたため、購読料収入は減少した。



(4) 特集連動企画

読者同士、および読者と編集委員が交流し、『ウォロ』で取り上げた社会課題をより深く理解する機会として、特集と連動したイベントを2回開催した。

① 6・7月号特集連動企画 「2030 SDGs」体験会

日時：2017年8月29日(火) 19時～21時 参加者数：33人

ファシリテーター：山本佳史さん(一般社団法人ソーシャルギルド代表)

② 10・11月号特集連動企画

企業と市民団体が協働現場で戸惑ったり嬉しかったりする「こんなこと、あるある」から学ぼう

日時：2018年1月19日(金) 19時～21時 参加者数：16人

ファシリテーター：大阪ボランティア協会企業市民活動推進センター運営委員

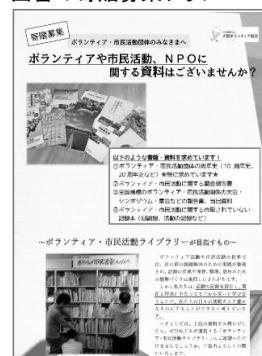
2. 他の情報提供事業

(1) ボランティア・市民活動ライブラリー

市民活動の歴史的資料を集めて散逸を防ぐとともに、現代の市民活動を記録し、市民活動の研究基盤となることを目的に「ボランティア・市民活動ライブラリー」を運営。ボランティア・市民活動に関する書籍、報告書など約5,000冊を所蔵。2017年度は収蔵ルールの整理を行い図書の寄贈を募集。27冊の申し出があり、検討の上19冊の貴重な資料が追加された。また、協会が所蔵する市民活動関係の新聞切り抜きのデジタル化を進めるため2014年度にスタートした「ボランティアスタイル」の「新聞切り抜き・保存ボランティア」は、2017年度に9回実施しのべ48人が参加した(第1章「ボランティアコーディネーション事業」に関連報告)。また、ボランティアスタイルのアンケートから「継続して参加したい」という意見が多数あったため、リピーター向けプログラムを2017年8月から実施。2018年3月から毎月第2土曜日に自主的に実施することになった(5回実施、20人が参加)。

◎新聞切り抜きのデータ数(2017年度)：4, 547点(のべ23,284点) ※2018年3月31日現在

図書の寄贈募集チラシ

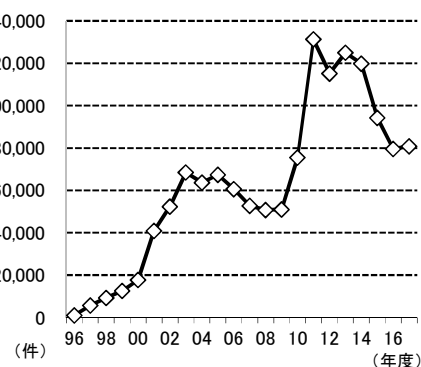


(2) 「ホームページ」の運用 (<http://www.osakavol.org/>)

ホームページ「ぼらやねん (Volajanen)」では、様々な情報を発信している。2017年度アクセス件数は80,872件(月平均6,739件)。16年度より約1,347件アクセス(前年度79,525件)が微増している。14年度から減少傾向にあり、スマートフォンといったモバイル利用が増えたことが要因とみられるため、より見やすいサイト構築の必要がある。

KVネット (<http://www.kvnet.jp/>) については、第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告している。また「3.11 from KANSAI」公式サイト (<http://www.311-kansai.com/>) についても、同実行委員会事務局としてホームページ運用を行った。

図6-3 HP年間アクセス数の推移



(3) フェイスブック (Facebook) の運用 (<https://www.facebook.com/osakavol/>)

2017年度は投稿数60(前年度比21減)、「合計いいね!」2,204(前年度比271増)と、投稿数は減ったものの利用は増加した。最高リーチ数の記事と数値は、「阪急梅田駅1階コンコースの4本の柱にご注目を」(リーチ数5,279人、2017年5月3日投稿)だった。

またFacebookページとして「ボランティアスタイル」「裁判員ACT」「ウォロ」がある。また、実行委員会などの事務局として「うめきた朝ガク」「震災復興応援イベント『3.11 from KANSAI』」のFacebookページ運用を行った。

(4) メールマガジンの運用

NPOや関心のある市民向けにメールマガジンの運用を3つ行っている。

「関西人のためのボランティア活動情報メールマガジン」：第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

「裁判員ACT通信」：第2章「市民力向上事業」で報告。

「NPOばいす」：第3章「NPO運営支援・基盤整備事業」で報告。

3. 書籍の発刊と発行経費の回収

(1) 新規/増刷の発行図書

① 新規発行

『福祉小六法 2018』の編集

・ B 6判、912 頁。2017 年 12 月 20 日、中央法規出版より発行。社会福祉および市民活動に関する基本法令をまとめる。子ども子育て支援法制度の施行による改正など最新の法令を収録。

② 改訂発行

『テキスト市民活動論』の改訂

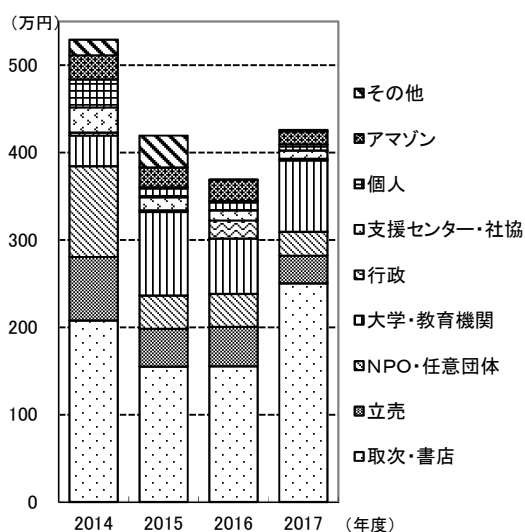
・ A 5判、193 頁。2017 年 4 月 1 日、協会より発行。

③ 増刷

『知らされない愛について』の増刷

・ A 5判、106 頁。2017 年 4 月 1 日、協会より第 12 刷発行。

図6-4 購入者属性



(2) 書籍の普及と発行経費の回収

出版活動の財政的自立をめざし、各書籍は実費で頒布。2017年度は3, 890冊(前年度比661冊増)の利用があり、売り上げは総額475万円(同35万円増、印税含)。取次を介して販売した『学生のためのボランティア論』、および改訂発行した『テキスト市民活動論』の売上増が要因とみられる。

① 新規発行図書の検討

『ボランティアリズム研究 (Vol. 3)』 18年度の発行に向けて編集作業を進めた。

② 協会編集書籍からの印税収入

『福祉小六法』の売上により約50万円(前年度比21万円減)の印税収入を得た。

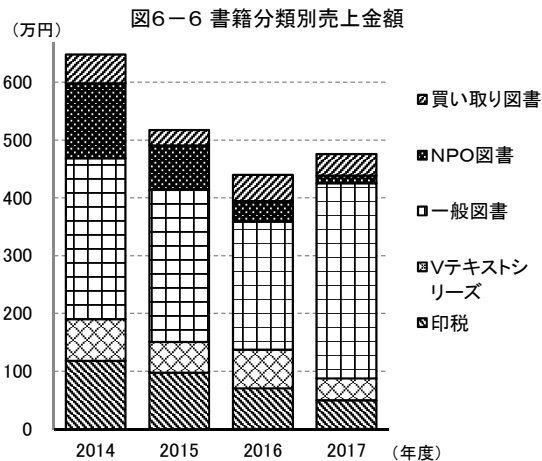
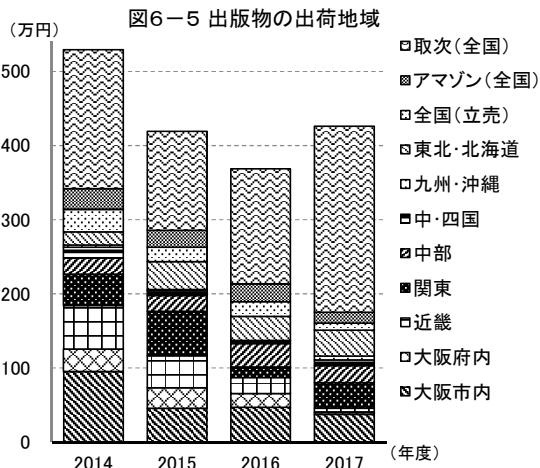
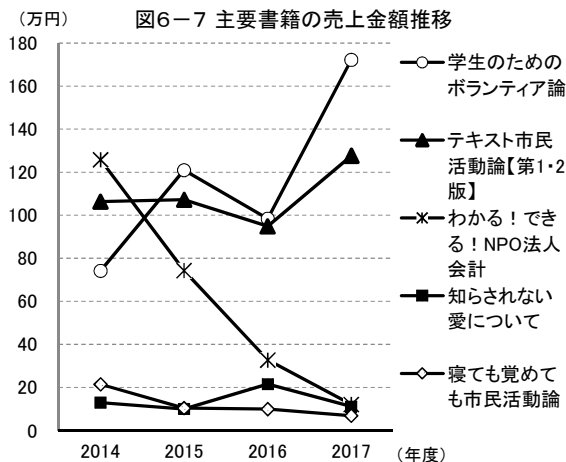


表6-1 2017年度販売上位書籍

書籍名	売上金額	売上冊数
学生のためのボランティア論	1,722,948	1,339
テキスト市民活動論【第1・2版】	1,277,087	1,164
わかる!できる!NPO法人会計	121,724	58
知らされない愛について	111,786	172
寝ても覚めても市民活動論	68,934	58

図6-7 主要書籍の売上金額推移



(3) 広報誌・研究誌等への寄稿 (常務理事・事務局員分のみ)

17年度は広報誌・研究誌などへの寄稿を行った。

- ・鉄道弘済会、「社会福祉研究」129号、「社会福祉の変革にかかわる市民活動-その意味と実践-」、2017年7月(早瀬)
- ・ぎょうせい、月刊「ガバナンス」200号、「NPOの意義と行政との“協働”」、2017年12月(早瀬)

4. 市民シンクタンク事業

市民活動を進めるための調査研究事業にも積極的に取り組んでいる。このうち、企業からの受託事業を第5章「企業市民活動推進センター事業」で報告したが、その他以下のような研究事業に取り組んだ。会場はすべて市民活動スクエア「CANVAS谷町」で開催。

(1) 「ボランティアリズム研究所」事業 [NHK歳末たすけあい募金助成事業]**①歴史の中のボランティアリズムを探る『ボランティア・NPO・市民活動年表』を読む会 2017【第2期】を開催 (第4回)「医療・保健・衛生」**

・日時：2017年4月18日(火) 18時30分～21時 ・案内人：八巻芳子氏 ・参加者数：19人

(第5回)「教育・健全育成」

・日時：2017年7月18日(火) 18時30分～21時 ・案内人：牧口明氏 ・参加者数：11人

(第6回)「国際協力・国際交流・多文化共生」

・日時：2017年10月17日(火) 18時30分～21時 ・案内人：岡本榮一氏 ・参加者数：15人

(第7回)「支援組織・支援行政」

・日時：2018年1月16日(火) 18時30分～21時 ・案内人：牧口明氏 ・参加者数：12人

②「市民セクターの次の10年を考える研究会【第2幕】『市民セクターが挑む、社会的孤立の抑制・解消への道程』を開催**(第3回)「高齢者をめぐる孤立」**

・日時：2017年4月23日(日) 13時30分～17時 ・参加者数：30人

・講師：藤田孝典氏 ((特) ほっとプラス代表理事)、牧里每治氏 (関西学院大学名誉教授)

・モデレーター：牧口明氏 (たかつき市民活動ネットワーク)

(第4回)「LGBTをめぐる孤立」

・日時：2017年6月4日(日) 13時30分～17時 ・参加者数：24人

・講師：近藤由香氏 ((特) QWRC共同代表)、東優子氏 (大阪府立大学教授)

・モデレーター：永井美佳

(第5回)「児童虐待をめぐる孤立」

・日時：2017年7月18日(日) 13時30分～17時 ・参加者数：19人

・講師：宮口智恵氏 ((特) チャイルド・リソース・センター代表)、才村純氏 (関西学院大学非常勤講師)

・モデレーター：藤井渉氏 (花園大学准教授)

(第6回)「外国人をめぐる孤立」

・日時：2017年9月2日(日) 13時30分～17時 ・参加者数：24人

・講師：村西優季氏 (NGO外国人救援ネット事務局)、田村太郎氏 ((一財) ダイバーシティ研究所)

・モデレーター：永井美佳

「中間振り返りの会」

・日時：2017年11月26日(日) 13時30分～17時 ・参加者数：21人

・話題提供：工藤宏司氏 (大阪府立大学准教授)、藤井渉氏 (花園大学准教授)、

牧口明氏 (たかつき市民活動ネットワーク)、永井美佳

・モデレーター：岡本仁宏氏 (関西学院大学教授)

(2) 宗教団体の社会貢献活動の推進について助言・公募助成事業事務局受託 (真如苑)

宗教法人 真如苑が社会貢献活動への助言を得るために組織した「アドバイザー委員会」事務局、「多摩地域市民活動公募助成事業」、「自立援助ホーム支援助成事業」の助成事業事務局を受託した。

5. 学会発表と研究会・審議会などへの参画

(1) 学会発表

2017年度は、日本NPO学会第19回年次大会一般セッション報告で、「2つの非営利法人制度のより良いあり方を考える」に永井美佳が登壇し、発表した。

(2) 審議会、研究会、学会理事などへの参画

2017年度に理事長、顧問、常務理事、事務局長および事務局員が審議会、研究会、助成審査会、役員を務める学会に参加。

① 審議会、研究会、助成審査会等

行政区名	会議名	氏名
大阪府	高齢者保健福祉計画推進委員会／住民主体型サービス創出支援推進協議会	永井(継続)
	地域福祉推進審議会／同地域福祉支援計画推進分科会／同福祉基金運営分科会	永井(継続)
	特定非営利活動法人条例指定審議会	永井(継続)
大阪市	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会／同保健福祉部会	早瀬(継続)
	地域包括支援センター運営協議会／同評価部会	早瀬(継続)
	介護予防ポイント事業にかかる選定会議・委員	早瀬(新規)
	市民活動推進審議会／ワーキング部会	永井(継続)
	市民活動審議会公募委員選考会議	永井(新規)
	ボランティア活動振興基金運営委員会作業部会	岡村(継続)
	福祉局「福祉読本」検討会議	椋木(継続)
	大正区における新たな地域コミュニティ支援事業業務委託事業者選定会議	永井(新規)
	港区における新たな地域コミュニティ支援事業業務委託事業者選定会議／港区におけるコミュニティ育成支援事業業務委託先選定会議	永井(新規)
	堺市	マスタープラン推進検討懇話会
さかいNPO協働大賞選考委員会		永井(新規)
社協	全社協「都道府県圏域における同時多発・広域災害への支援あり方検討委員会」	永井(継続)
	大阪府社協ボランティア・市民活動センター運営委員会	永井(継続)
	大阪府社協「福祉サービス第三者評価決定委員会」	永井(継続)
	大阪市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会	永井(継続)
	大阪市社会福祉研修情報センター運営委員会	早瀬(継続)
共募	中央共募「災害ボランティア・NPO活動サポート募金運営委員会／同審査準備小委員会」	早瀬(継続)
	中央共募「赤い羽根福祉基金」審査委員会	永井(継続)
	大阪府共募運営協議会	牧里(新規)
関経連	「関西財界セミナー賞2018」選考委員	早瀬(継続)
企業系	大同生命厚生事業団 サラリーマン(ウーマン)／シニアボランティア活動助成	早瀬(継続)
	積水ハウスマッチングプログラム事業・理事会	永井(継続)
福祉医療機構	独立行政法人福祉医療機構・助成事業審査評価委員会	早瀬(継続)
財団系	公益財団法人三菱財団・社会福祉助成選考委員会	早瀬(継続)
宗教系	真如苑「多摩地域市民活動公募助成」「市民防災・減災公募助成」「自立援助ホーム支援助成」	早瀬(継続)
NPO系	大阪府高齢者大学校「KOUDAI AWARD」審査会議	永井(継続)

② 学会役員等

NPO系	日本NPO学会・理事	永井(継続)
------	------------	--------